

No. 8, pp. 41 - 46

25.XII.1966

寄せ蛾記

埼玉蛾類談話会発行

YOSEGAKI ; THE SAITAMA HETEROCHERISTS' GROUP

(埼玉県産蛾類分布資料 17)

*狹山市の蛾(Ⅱ)；シャチホコが斜追加、その他

鶴巻照夫

狹山市産シャチホコが斜について、さきに12種を発表したが、ここにさらに8種を追加すると共に、他の科についても若干の興味ある種類を記録する。

NOTODONTIDAE

13. *Peridea lativitta* WILEMAN アカネシャチホコ 1♂ 10.IX.'66

14. *P. basilinea* WILEMAN ネスジシャチホコ 1♂ 15.VIII.'66
本種は東日本では未記録であったが、最近になって市川和夫(埼玉県宝登山)と鳥渴頭壁(粉木渓那須高原)³⁾が採集したことは既知のとおりである。筆者もこの稀種を狹山市で得ることに成功した。

15. *Lophocosma atriplaga* STAUDINGER クロスジシャチホコ 1♀
13.VII.'66

16. *Cnesodonta grisescens grisescens* STAUDINGER シロシシャチホコ 1♂ 20.VII.'66

17. *Rosama ornata* OBERTHÜR トビギンボシシャチホコ 1♀ 26.VI.
'66 : 1♂ 13.VII.'66

埼玉県では矢野重明(埼玉県浦和市)³⁾の記録があるだけで一般にあまり多くなく、1000m以上の山地では採集されていない。市川和夫は最近宝登山(未記録)で数匹採集したという。

18. *Pydna straminea* MOORE キシャチホコ 4♂♂ 3.VII.'66

19. *P. pallida* BUTLER ウスキシャチホコ 2♂♂ 20.VII.'66

20. *Phalera flavescens* BREMER et GREY モンクロシシャチホコ
2♂♂ 10.VIII.'66 : 1♂, 2♀♀ 14.VIII.'66 : 1♂, 2♀♀ 20.VIII.'66

SATURNIIDAE

21. *Philosamia cynthia pryeri* BUTLER シンジュサン 1♂, 1♀

*埼玉県狹山市東三ツ木(狹山駅前)で採集したもの。

1) 鶴巻照夫・大島進一(1966) 寄せ蛾記 No.7, pp.36-37

2) 市川和夫(1966) 昆虫と自然 Vol.1, No.1, p.23 および 寄せ蛾記 No.7, p.37

3) 矢野重明(1966) 寄せ蛾記 No.4, p.16

13. VII. '66 : 3♂♂ 16. VII. '66

県内では比較的まれな種である。既知産地は宝登山(6・8月)だけであった。

SPHINGIDAE

22. *Marumba jankowskii* OBERTHÜR ヒメクチバスズメ 1♂ 14.
VI. '66

県内では鈴木久善が浦和市(25.VII.'59)⁴⁾で採集した記録がみられるのみである。

ARCTIIDAE

*23. *Arctia caja phaeosoma* BUTLER ヒトリガ 1♂ 12. IX. '66
埼玉県では最初に記録する個体である。

24. *Amsacta lactinea* CRAMER マエアカヒトリ

西日本の暖地では相當に採集されているようだが、関東地方では局地的に発生するらしく、県内では浦和市や川口市で少數とれるのみである。ここ狭山市では普通種といえるほど多く6~8月に新鮮な個体が得られる。採集記録は次のとおりである。

1♂, 2♀♀ 20. VI. '66 : 2♂♂, 4♀♀ 17. VII. '66 : 5♂♂, 2♀♀ 28.
VII. '66 : 3♂♂, 3♀♀ 10. VIII. '66

25. *Campyloptera interiorata* WALKER サラサヒトリ 1♀ 8.VII. '66

NOCTUIDAE

26. *Pelamia electaria* BREMER ユミモンクチバ 1♂ 10. VII. '66
少いもののようで、県内では浦和市田島ヶ原に産することだけがわかつてた。

27. *Chrysorithrum amatum* BREMER et GREY カクモンキシタバ
1♀ 6. VII. '66 : 1♀ 10. VIII. '66

県内における既知産地は、⁵⁾浦和、⁶⁾宝登山(未記録)・三峰山である。

GEOMETRIDAE

*28. *Sternha nielseni* HEDEMANN オビベニヒメシャク 1♂ 10. VII. '66
たぶん埼玉県では新記録種。

COSSIDAE

29. *Cossus japonica* GAEDE ボクトウガ 1♂ 10. VII. '66

*30. *Phragmatocacia castanea* HÜBNER ハイイロボクトウ 1♂ 12. VII.
'66

最近になって浦和市田島ヶ原や川口市でかなり採集されているというが埼玉県未記録の種である。

PYRALIDIDAE

*31. *Sinomphisa plagialis* WILEMAN キササゲノメイガ 1♂ 3. VIII. '66

以上のはか多くの種類を採集しているが、整理のついたものから順次報告したい。本報告の種名の前に*印を付けたものは、埼玉県未記録または未記録と思われるものであり、また各種に關しての埼玉県内における知見は市川和夫氏に教示をうけたことを付記しておく。

編集者よりのおわけ

本誌No.8の発行が私の都合で遅れ申訳ありません。なお、手持の原稿は1967年2月にNo.9として発表します。干代値上に併い会費を値上げするのはよくないので、折りたたんで定形郵便物として送付することをおゆる下さい。
(市川和夫)

4) 鈴木久善(1959)むらさき(浦和市立高校生物部報) Vol. 11

5) 矢野重明(1960) Arginnis Vol. 9, No. 1

6) 市川和夫(1962)秩父自然科学博物館研究報告 No. 11

—奥鬼怒 日光沢温泉の蛾—

尾 熊 勇一

鬼怒川上流にある奥鬼怒温泉郷のうちで最も奥地にある日光沢温泉を訪れ、若干の蛾を採集したので報告することにした。当地は東武日光線の鬼怒川温泉駅からバスで夫婦両手で約2時間半、そこからさらに徒步2時間を要する場所であるが、自家発電を行っている宿なので、それ程明るくはないが電燈がつく。1966年の8月7日の夜は星空の美しい晩であったが、それでも下記の種を採集することができた。和名の次の()内の数字は個体数をあらわしてある。

[採集品目録]

1. *Spilarctia seriatopunctata* スジモンヒトリ (1)
2. *Rhyparioides nebulosa* ベニシタヒトリ (2)
3. *Anaplectoides prasina* アオバヤカ (1)
4. *Xenotrachea albidisca* シロファオヨトウ (1)
5. *Iragaodes nobilis* マエキリンガ (1)
6. *Pangrapta manleyi* マンレイツマキリアイバ (1)
7. *Zanclognatha grisealis* クロスジアツバ (1)
8. *Microphalera grisea* ハイイロシマキホコ (1)
9. *Drymonia japonica* コトビモンシマキホコ (1)
10. *Parocneria furva* ウチジロマイマイ (3)
11. *Philudoria potatoria* ヨシカレハ (1)
12. *Takanea miyakei* ミヤケカレハ (1)
13. *Tethea fluctuosa* ヒトテントガリバ (1)
14. *Tethea intensa* ホソトガリバ (1)
15. *Geometra papilionaria subrigua* オオシロオビアオシマク (1)
16. *Lygris ledereri inurbana* ウストビモンナミシマク (1)
17. *Xanthorhoe abraxina abraxina* キアシシロナミシマク (1)
18. *Hydriomena furcata nexifasciata* ヤナギナミシマク (5)
19. *Venusia laria ilara* クロスジカバイロナミシマク (1)
20. *Trichodezia kindermannii leechi* シラフシロオビナミシマク (1)
21. *Solitanea defricata* シロオビマルバナミシマク (2)
22. *Scionomia sinuosa* コツマキウスグロエダシマク (1)
23. *Boarmia lunifera* オオバナミガタエダシマク (2)
24. *Phthonosema invenustaria invenustaria* トビネオオエダシマク (1)
25. *Deileptenia ribeata* マツオオエダシマク (1)
26. *Proteostrenia leda* シロモンクロエダシマク (1)
27. *Psyra subcuneata* ミスジキリバエダシマク (1)
28. *Abraxas grossulariata conspurcata* スグリシロエダシマク (1)
29. *Cabera purus* コスジシロエダシマク (1)
30. *Tristrophis veneris* トラツツバメエダシマク (1)
31. *Archips ingentana* オオアトハマキ (1)
32. *Clepsis imitalor* アミメキイロハマキ (1)

川口市のオナガアゲハ

大島進一

川口市のオナガアゲハ (*Papilio macilentus* JANSON) については川口昆虫同好会会報¹⁾に発表したことがあるが、その後いくつかの採集記録や、発生地の発見などの新事実を見出したので、再びこの問題にふれてみたい。

(1) 今までの採集記録のまとめ。

1	川口市安行	1 合	19. VII. 1960	尾熊 勇	Charaxes No.5より引用
2	鳩ヶ谷町法性寺山	1 合	30. IV. 1961	大島 進一	" No.5 "
3	" , "	1 卓	4. VI. 1961	沼田 健二	" No.5 "
4	" , "	1 合	—. VI. 1961	石間戸 健二	新記録.
5	川口市木曾呂	1 卓	20. VIII. 1962	"	Charaxes No.5より引用
6	川口市安行	1 合	15. V. 1963	"	新記録.
7	鳩ヶ谷町法性寺山	1 合	10. V. 1963	大島 進一	"
8	" , "	1 卓	3. V. 1964	"	Charaxes No.6より引用

(2) 川口市における本種の食樹の問題。

本種の食樹としては、コクサギ・イヌザンショウ・サンショウ・カラタチなどが知られている。まだ完全な確認をしてはいないが、川口市内においては、コクサギのみを食樹としているものと見て差しつかえない。もし仮りに、路傍や山林にいくらでもあるサンショウやカラタチなどに寄生しているとすれば、他のアゲハ類のようにもっと普通に産しなければならないはずだし、実際に川口市での成虫の行動を調べてみると、ほぼコクサギの生育地を中心としておこなわれているがわかり、このことからもこの意見は支持される。

コクサギ *Oriza japonica* THUNBERG (みかん科)

この植物は、同じ科の他の植物の中でもあまり大きくならないもので、平均 1m くらい、大きいものでも高さ 3m を超すことは稀である。一般に多湿地に多く、川辺とか常緑樹林内のように暗いところに多く生育している。

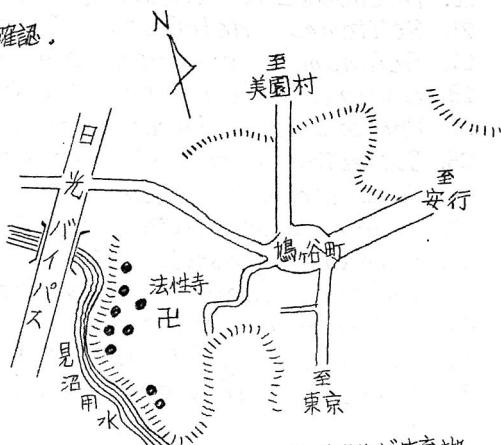
(3) 川口市におけるオナガアゲハの発生地の確認。

(a) 鳩ヶ谷町“法性寺山”付近

ここは大宮台地の突端にあたり、西側は見沼用水が流れ、お寺があるため自然状態が良く保たれている。昆虫相が豊富なので地元の同好者による採集活動は相当盛んである。

コクサギは、台地の西側斜面からのみ見出され、その数はあまり多くないが、稀に貧弱な木が中央部や東側にも生育しているのを見る。

ここでの幼虫発見は今日までは成功していないが、近年のうちに必ず発見できるものと信じている。



[法性寺山付近図]

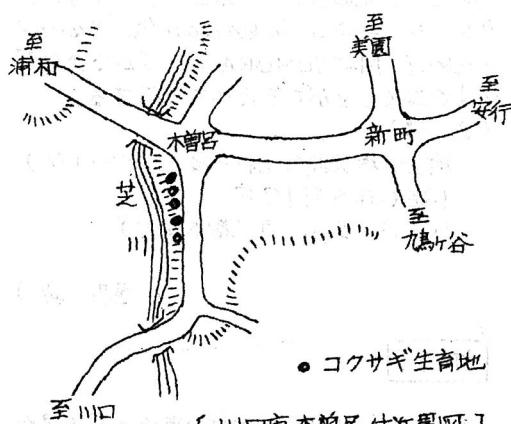
[b] 川口市“木曾呂”付近

ここは市内のうちでは最も調査が遅れており、今後多くの事実が明らかにされると思う。

この地でのコクサギの生息状態は法性寺山のそれとほぼ一致し、やはり西側には川があり、周囲はシイ・カシなどの常緑広葉樹林となっている。このような場所にコクサギが生えているのを知った動機は、1962年8月20日に、石間戸・並木彬雄の両氏と筆者が当地を訪ね、たまたま普段は見向きもしない、いかにも蝶の出そうもない所に入ってしまった。止むを得ずしばらく進むと、石間戸氏がふいにフワフワと舞い上る大型なアゲハをネットに入れたので、それを調べてみると、なんとそれは羽化間もない新鮮なオナガアゲハの♀であつた。我々はこの付近に発生地があると直感し、ただちに手わけしてコクサギの有無をたしかめたところ、さもなく川に沿って 50 m^2 ほどの群落の存在を発見した。

この時は、若干の本種終令幼虫を採集できたが、それらはすべて寄生蜂におかされていたため成虫を見るることはできなかった。

以後、当地では何回もの採集調査が行われ今日に至っているが、それいらい成虫・幼虫とも発見されていない。



〔川口市木曾呂付近図〕

(4) 今後の課題

(a) 今まで確認できた発生地は、法性寺山西側と木曾呂の2ヶ所だけだが、本種は局地的ながらも相当広範囲に分布していると思われる所以、そのほかの発生地の有無を確認したい。

(b) 一応食樹をコクサギだけであると断定したが、或は他のみかん科植物にも寄生しているかも知れないから、その調査も併せて行う必要を感じている。

(c) 元来は山地性といえる種類なので、川口市のような低地に産することじたい珍らしいと言えよう。それだけに乱獲はつつしむように心掛けたい。

1967年は“17”……月令計算式の定数です。

矢野重明氏の方程式に従えば、1967年中の月令計算式の数字は、17ということになります。夜間採集の予定を立てられる方は是非おぼえて下さい。ヨミミなど見なくともズバリ当ります。「月の数字」+「日の数字」+ 17 = その日の月令（合計が30をこえるときはさらに-30する）

1) 大島進一 (1964) Charaxes Nos. 5-6 (川口昆虫同好会誌)

三峰山でタカムクシャチホコを採集

埼玉県未記録のシャチホコが科のうち、タカムクシャチホコ *Takadonta takamukui* MATSUMURA を三峰山での夜間採集で得ることができたので報告する。

(記録)

埼玉県秩父郡大滝村三峰(山頂ケーブル駅)

1966年8月18日

採集者 尾熊 勇(標本保管)

(尾熊 勇)

訂正

寄せ蛾記 No.5 は田村公憲氏の長野県白馬大池の鱗翅類 (*Lepidoptera in Shirouma-Ooike, Nagano pref.*) の特集であったが、同県在住の宮田 渡先生から、当該採集地は *Shirouma-Ooike* ではなく *Hakuba-Ooike* が正しいと御教示を受けました。従って地名の呼び方を *Hakuba-Ooike* と訂正します。

(市川 記)

燈火に飛来する蝶

谷川岳土合ロケード駅で夜間採集を始めてから9回になるが、蛾と共に蝶が絶えず飛来することがある。同様のことば「新昆虫」などにも時々記事があるが、筆者は次の経験があるので発表することにした。

(1) コムラサキ

1合 21.VIII.1966 夜11時ごろ
飛んで来た完全品。

(2) サカハチチョウ

1合 11.IX.1966 どしゃ降り
の雨の中で夜10時ごろ飛来、不完全品。

(3) オオチバネゼセリ

ゼセリチョウ類は他にも時々飛来するが、採集してこなかった。
なお、8月7日に浦和市大門小学校で夜間採集した折には、キアゲハが飛来してきたし、またこの時は同時に多数のヒグラシも飛来したこと付記する

(並木 椎雄)